

●ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン〔費用は無料、対象者は生後2か月～5歳未満〕

インフルエンザ菌b型（髄膜炎や敗血症などを引き起こす病原菌で重い後遺症が残ることがあります。）の感染予防効果があります。接種回数は1回目の接種時期により異なります。

接種回数と接種間隔	1回目の接種が生後2か月～7か月未満のとき (計4回接種)	1回目 → 4～8週以上 → 2回目 → 4～8週以上 → 3回目 → 約1年後 → 4回目 <small>(医師が必要と認めた場合は3週間)</small>
	1回目の接種が生後7か月～満1歳未満のとき (計3回接種)	1回目 → 4～8週以上 → 2回目 → 約1年後 → 3回目 <small>(医師が必要と認めた場合は3週間)</small>
	1回目の接種が1～5歳未満のとき (計1回接種)	1回のみ

※接種を一時見合わせています。

●小児用肺炎球菌ワクチン〔費用は無料、対象者は生後2か月～4歳〕

重症化する細菌性髄膜炎、肺炎や副鼻腔炎、中耳炎を引き起こす7種類の肺炎球菌への感染予防効果があります。接種回数は1回目の接種時期により異なります。

接種回数と接種間隔	1回目の接種が生後2か月～7か月未満のとき (計4回接種)	1回目 → 27日以上 → 2回目 → 27日以上 → 3回目 → 60日以上 → 4回目 <small>(3回目は生後12か月未満までに完了する) (4回目は標準として12～15か月内に行う)</small>
	1回目の接種が生後7か月～12か月未満のとき (計3回接種)	1回目 → 27日以上 → 2回目 → 60日以上 → 3回目 <small>(3回目は生後12か月後に行う)</small>
	1回目の接種が1～2歳未満のとき (計2回接種)	1回目 → 60日以上 → 2回目
	1回目の接種が2～5歳未満のとき (計1回接種)	1回のみ

※接種を一時見合わせています。